



1. ブリッジ第23号の発行にあたって

先般開催された、第24回通常総代会において、提出された議案は全て可決され、合併後初となる『第8次中期3カ年計画』も承認をいただきました。

合併前両JAの取り組みを検証し・反映した『第8次中期3カ年計画』は、組織理念に基づく10年後の目指す姿『みんなが喜び実りある農業』『みんなと一緒に元気な地域をつくる協同組合』『みんなの期待に応え続ける力強い経営基盤』の実現を目指し本年度よりスタートしました。

自己改革通信ブリッジにおいても、第8次中期3カ年計画と自己改革に関する取り組み内容や目的・成果・課題等について、組合員の皆さんと共有させていただくことを目的に発行していきます。「対話」を通じ事業や活動の改善につなげていきたいと考えていますので、多くのご意見・ご要望をお聞かせいただければ幸いです。

2. 昨年度の対話運動について

令和6年度の対話運動の取組結果及び、頂戴した意見に対する回答の一部を報告いたします。多くのご意見をいただきありがとうございました。

(1) 令和6年度対話運動の取組結果

対話活動区分	活動実績
役員による担い手訪問活動	251 (訪問数)
職員による対話活動	1,104 (意見聴取数)
協同活動を通じた対話とアンケート	2,566 (回答数)

(2) 主なご意見に対するご回答

Q1

米価が上昇したが、次年度以降もこの水準を維持して欲しい。資材費が高騰している中で、再び米価が下落しないように取り組んでほしい。

A1

米価は在庫量や市場動向によって影響を受ける面もありますが、適正価格での販売に努めてまいります。

依然として米不足の傾向があり、卸売業者もJAの集荷に期待しているところもあるため、適正価格を形成する為にも1俵でも多く出荷をお願いします。

Q2

過疎化が進み地域のふれあいが減少している。活気ある地域づくり活動を希望している。

A2

支店協同活動を通じイベントや研修会等を開催しています。地域を盛り上げるための活動はもちろんのこと、JAや地域農業に対する理解促進を図る機会として実施しています。

なお、令和6年度は150回の開催、約8,800人の方から参加をいただきました。

3. 自己改革工程表について

自己改革の取り組み内容や結果をより具体的に共有いただくため、「自己改革工程表」を策定し総代会に提案しました。自己改革工程表には基本目標である「農業所得の増大」や「農業生産の拡大」に直接結びつく具体的取り組みと数値目標を掲げており、組合員の皆様と一緒に毎年検証・修正していくものと位置付けています。

今回は、令和6年度の自己改革工程表に記載している取り組みの一部を、結果も含めてお繋ぎします。

農業者の所得増大・農業生産の拡大

① 肥料農薬の銘柄集約と共同購入の拡大		＜取り組みの対象者＞	
		必要とする全ての農業者	
評価指標	統一銘柄資材取扱数量	想定 効果	コスト 低減 50~80円/袋
R6目標/実績	120,000袋/117,753袋		
② 肥料・農薬の予約購入及び大口利用値引き		＜取り組みの対象者＞	
		中核的担い手や多様な担い手	
評価指標	値引き額	想定 効果	コスト 低減 70,000円/人
R6目標/実績	1.5億円/1.9億円		

地域の活性化

① 地域とつながる活動・事業の展開		
評価指標	組合員の平均事業利用数	
R6目標/実績	4.3件 / 4.1件	
② 直売施設での地産地消活動の実践、農業応援団の拡大		
評価指標	出荷会員数	
R6目標/実績	1,365会員 / 1,324会員	
評価指標	委託品販売高	
R6目標/実績	7億8,026万円 / 8億166万円	
評価指標	年間来店者数	
R6目標/実績	658,000人 / 593,583人	

4. 米の JA 出荷メリットについて

『えちご上越米』は、組合員の皆様の努力で今日まで築き上げてきたブランド力に支えられ、高い評価をいただいています。

JA えちご上越では集荷から販売に至るまでを JA が行うことにより、組合員の皆さんには生産に集中していただき、高品質でおいしい『えちご上越米』を今後も全国の消費者へ向け、安定的に供給してまいります。

改めて JA えちご上越への米出荷のメリットを確認いただき、共に『えちご上越米』を盛り上げていただければ幸いです。

(1) 出荷メリット

メリット ①

JA 委託販売(共同計算)ならではの**追加払い**と経費の透明性



メリット ②

JA 出荷で米代金の**回収不能懸念がない**



メリット ③

JA 出荷のスケールメリットでえちご上越米の**ブランド力維持・向上**



(2) 過去の委託販売(共同計算)における米代金

60kgあたり

年産	品種	等級	仮渡金			④ 最終精算額	最終手取額 (③+④)
			①仮渡金 当初	②仮渡金 追加払い	③仮渡金 (①+②)		
令和 6年	コシヒカリ	1	17,300	3,900	21,200	※未精算	21,200 ※
	こしいぶき	1	14,800	4,300	19,100		19,100 ※
	みずほの輝き	1	15,300	4,100	19,400		19,400 ※
令和 5年	コシヒカリ	1	14,100	100	14,200	1,004	15,204
	こしいぶき	1	11,800	100	11,900	998	12,898
	みずほの輝き	1	12,000	100	12,100	998	13,098
令和 4年	コシヒカリ	1	14,000		14,000	825	14,825
	こしいぶき	1	10,500		10,500	1,224	11,724
	みずほの輝き	1	10,800		10,800	1,224	12,024
令和 3年	コシヒカリ	1	12,700	150	12,850	1,006	13,856
	こしいぶき	1	10,300		10,300	739	11,039
	みずほの輝き	1	10,600		10,600	740	11,340

※令和6年産米は最終精算が未了のため、最終手取額についても現時点の仮渡金の金額となっています。

※その他詳しい情報は、各営農センターからの文書も合わせてご覧ください。

5. 中期3カ年計画に対する意見聴取について

第8次中期3カ年計画では、農業分野、地域分野、経営分野それぞれで、多様な行動計画を設定し、実践してまいります。

今般、第8次中期3カ年計画のJAの取り組みに、皆さんからの意見を反映し、取り組みの内容をより良いものにすべく、中期計画の内容紹介とそれに対するご意見を頂戴したいと考えました。

今回のブリッジでは下記の取り組みについて皆さまのお考えをお聞かせください。

◆多様な需要に応じた米の生産・販売提案により、JAへの出荷結集を図ります◆

行動計画 に対する JAの施策	・農業再生協議会の方針、需要動向調査、販売促進活動に基づく需要に応じた出荷計画の作成
	・出荷契約予約数量の通知、生産誘導による出荷契約積上げ推進の実施
	・「棚田米SDGs」の取り組み推進



JAへの出荷に対しどのようなお考えやイメージをお持ちですか？
皆さんのお考えやご意見をお聞かせください。

◆地域の担い手となる正組合員の確保・育成支援や法人組織の雇用就農者確保支援により、持続可能な農業経営の基盤強化に繋がります◆

行動計画 に対する JAの施策	・法人雇用就農者確保に向けた「農業就農マッチングフェア」の開催
	・労働力支援マッチングアプリ「デイワーク」の普及拡大
	・農業法人の各種課題解決に向けた関係機関と連携した検討会議の開催
	・農業後継者育成雇用制度を活用した若手農業者の育成
	・園芸教室等を通じた新規就農者の掘り起こし



今後の農業経営を見据え、就農者確保について皆さんが行っている取り組み等がございましたら、お聞かせください。
また、取り組みに対し支援できることは何かありますでしょうか？

◆支店協同活動の内容の充実に取り組み、支店につどう仲間を増やします◆

行動計画 に対する JAの施策	・様々な支店協同活動を通じた地域との結びつき強化
	・ぼけっとめぐり等 JA が提供するデジタルツール普及に向けた講座等の協同活動の実施
	・准組合員や若年層に向けた農業協同組合の理解醸成



地域や農業を盛り上げるイベント、研修会等、皆さんのご希望はありますか？
会場や規模など、どんなことでも構いませんので、ご意見をお聞かせください。